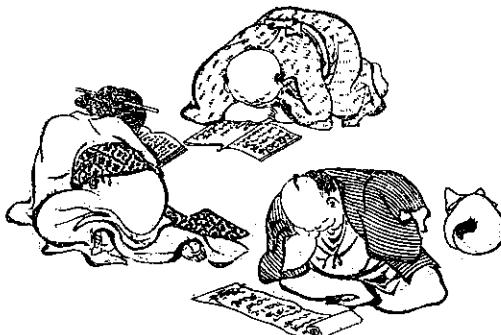


知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより
2004年6月
第10号



本を読む人シリーズ⑩

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。
本を読む。手紙を読む。読むにもいろいろあります。
(『北斎絵辞典 人物編』 7218-57-2)

■ トピックス

▼ 展示コーナー

7月からのテーマは「お金」です。
2004年の秋に新しい図柄で紙幣が発行される予定です。貨幣の歴史や新しく紙幣の肖像になる樋口一葉、野口英世についても紹介します。

▼ 名作鑑賞会のお知らせ

毎月第3土曜日に名作映画鑑賞会を開催しています。詳しい上映日、上映予定作品の案内は7ページや館内のポスター・チラシをご覧ください。

なお、7月の上映日は第2土曜日、8月の上映はお休みとさせていただきます。

目 次

特集：のぞいちやおう！	
東部図書館の裏側	… 2
図書館ぶらり散歩⑩海の本	… 4
図書館の本の探し方⑤	
検索結果を印刷し、本を探す。	… 5
房総文学スケッチ⑨	
国木田独歩	… 6
レファレンスあれこれ⑩	… 7
名作映画鑑賞会のご案内	… 7
行ってみよう！近くの施設⑩	
千葉県立大利根博物館	… 8

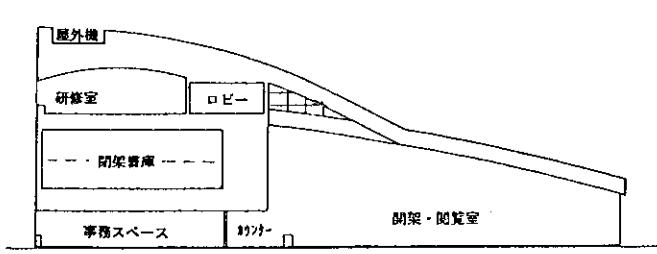
のそいちゃおう！ 東部図書館の裏側

皆さんはどんな時に東部図書館を利用しますか？

専門書などを利用しての調べ物や勉強。インターネットを活用して情報検索。ブラウジングコーナーで音楽を聴きながらリラックス。AVコーナーでビデオ鑑賞 etc・・・様々なのでは。そしてそのほとんどを閲覧室で過ごされると思います。でも、閲覧室のほかに図書館にはたくさんの設備があります。

そこで今回は東部図書館の普段は見ることのできない設備の一部を紹介します。

(図書館断面図)



図書館の建物は、気軽に本に親しんで欲しいことから「本を開く」がデザインコンセプトになっています。

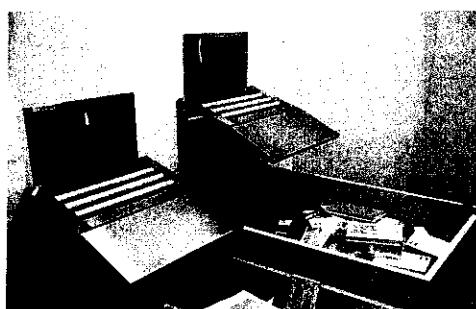
緩やかな曲線の屋根は本が開いた時のページがたわむイメージです。山、風、波など東総地域の風景も連想されます。

まずは1階から。

正面入口の左側には「返却ポスト」があります。

ここは休館日や閉館後に資料を返却する場合に利用します。

中を覗いて見ると・・・



返却された本はスロープをおりて、下の大きな箱に入れます。翌日の朝、職員が回収し返却処理を行います。

(開館中は館内カウンターをご利用ください。)

カウンターの後ろの扉の奥に事務室があります。
庶務課・資料課・調査課・協力課があり、職員は
25名です。

資料の収集・整備や他の図書館等との連絡・調整、
施設の管理業務などを行っています。



2階と中3階が書庫です。

閲覧室にある検索コーナーで利用したい資料を検索したとき配置場所「書庫」と表示されたことはありませんか？

県立図書館には資料を長期にわたり保存するという役割があります。現在、東部図書館の蔵書数は閲覧室と書庫を合わせて約16万冊ですが、最大50万冊の資料が収藏できるよう設計されています。

では、書庫はどんなところなのでしょうか？

書庫にはズラリと書棚が並んでいます。書庫の端から端まで約35mあります。

資料は閲覧室と同じく分類ごとに配架され、過去の新聞や雑誌もここに保存しています。



(電動書庫)



電動書庫もあります。少ないスペースで多くの資料を保存することができます。書棚ごとにスイッチがあり、利用したい書棚脇のボタンを押すと自動的にレールの上を書棚が移動し、中に入ることができます。

現在、書庫に保管している資料は約7万冊になります。ぜひご利用ください。

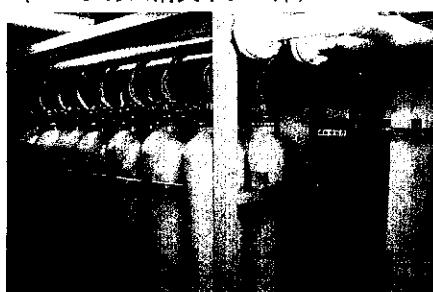
書庫の奥には機械室があります。

館内の温度や湿度調整を行ったり、電気設備が正常に作動しているか確認しています。

これは空調設備用の配管です。この太い配管の中を温度調整した空気が流れていきます。閲覧室内にある温度・湿度計でも定期的に確認し館内で快適に過ごしていただけるよう努めています。



(ハロンガス消火ポンベ庫)



書庫内は資料の保存を考え、温度や湿度を一定に保つよう努めています。消火設備にも水ではなくハロンガスを使用し、火災が発生した場合、無色のガスが噴出され濡らすことなく資料を守ります。

■□ ■□□ ■ □

いかがでしたか？

今回紹介した設備の他にも様々な設備・機器等によって東部図書館は運営しています。これからも快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

<p>渚にて 久世光彦 著 2003 集英社</p> <p>『青春と読書』に連載された「約束の夏」を単行本化。無人島に漂着した少年少女が困難の中生き延びる姿を描く。</p> <p>9136-ケ13</p>	<p>海辺 生命のふるさと R. カーソン 著 2000 平凡社</p> <p>『沈黙の春』の著者が海辺の生物と地球の本質的な調和を解説。自らが海辺に立ち直観的に得た真の知識を紹介する。図版も豊富。</p> <p>4688-13</p>	<p>水中考古学への招待 海底からのメッセージ 井上 たかひこ 著 1998 成山堂書店</p> <p>水中に眠る遺跡を調査研究する水中考古学は、日本ではまだこれから学問分野。水没した難破船や海底都市の探検を紹介する。</p> <p>2025-33</p>
<p>海の漂泊民族バジャウ ミルダ・ドリューク 著 2003 草思社</p> <p>陸を拒み、時間もお金も物の所有も意識しないバジャウ族。ドイツ人女性写真家が、熱帯の海で単純な中に幸せを見出す人々を綴る。</p> <p>38224-13</p>	<p>図書館ぶらり散歩⑩</p> <h1>海の本</h1>	<p>水辺で起きた大進化 カール・ジンマー 著 2000 早川書房</p> <p>海で生まれた生命がどのように陸へと上がり海へ戻ったのか、その進化の過程と、進化を巡る研究の歴史を解説する書。</p> <p>4675-30</p>
<p>アジア海道紀行 佐々木 幹郎 著 2002 みすず書房</p> <p>日本、中国、韓国と、アジアは海で繋がっている。港町と島々を巡る旅を紀行文と写真により紹介。</p> <p>9156-サミ1</p>	<p>深海 久保川 勲 著 2001 誠文堂新光社</p> <p>深海探査の進歩によって、太陽の光も届かない深海の実態が徐々に明らかになりつつある。豊かな生態系や地球の変動などを伝える写真集。</p> <p>4528-5</p>	<p>海洋図の歴史 人は海をどのようにイメージしてきたか ピーター・ウィットフィールド 著 1998 ミュージアム図書</p> <p>海図の歴史はそのままヨーロッパ人の世界観の履歴とも言える。美しいカラー図版満載で美術書のような一冊。</p> <p>55778-2 (書庫)</p>
<p>NHKスペシャル 海 知られざる世界 NHK「海」プロジェクト 著 1999 日本放送出版協会</p> <p>貴重な映像やCGを駆使し、海底山脈、資源、波、生態系など8つの切り口から海の不思議に迫るドキュメンタリーを書籍に。</p> <p>452-3-1~4</p>	<p>苦あり楽あり海辺の暮らし 川口 祐三 著 2002 北斗出版</p> <p>辺境の地にも都市の漁業集落にもドラマがある。根室半島の珸瑤瑵から五島列島の中の一つ小値賀島まで、日本の海辺を訪ねた記録。</p> <p>6619-6 (書庫)</p>	<p>くまもなき かがみと見えて すむ月を ももたびみがく 奥つ白波</p> <p>鶴長明</p>

各マス右下の記号は当館の請求記号です。

図書館の本の探し方 ⑤

検索結果を印刷し、本を探す。 その2(前号のつづき)

検索コーナーにある東部図書館の所蔵検索ができるパソコンは、検索結果が印刷できます。印刷された検索結果をもとに、本を探してみましょう。

例 『ビル・ゲイツの面接試験』が読みたい。

ステップ2 求記号を確認しながら本を探す。

I図

開架資料一覧

平成16年 6月 1日

請求記号	配置場所	資料名
33642 9	開架	ビルゲイツの面接試験 ウイリアム・パウンドストーン//著 青土社2003 2101612373

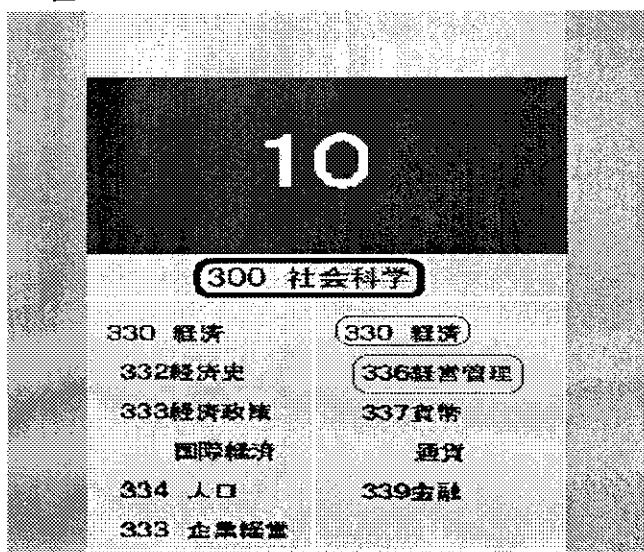
1 印刷された検索結果の請求記号を見ると〔33642／9〕でした。(I図)

2 図書館の本の並び方は請求記号にしたがって棚の左から右へ、上から下へと並んでいます。

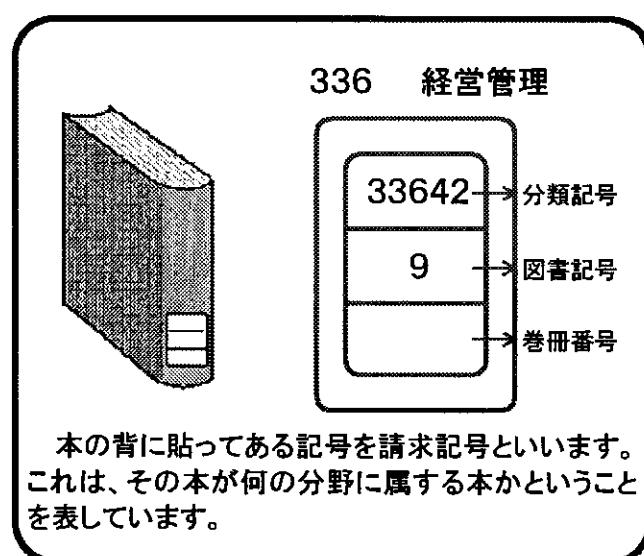
3 書棚の側面にはII図のように、その書棚に入っている本の請求記号が表示されています。
この場合、〔33642／9〕ですので、〔300社会科学—330経済—336経営管理〕の書棚にあります。

※ 請求記号は、図書の住所のようなものです。
棚から取り出した本を違う場所に置くと、行方不明になってしまいます。ご利用になった本は、返却用ワゴンに置いてください。

II図



【書棚の側面表示】



房総文学スケッチ⑨

国木田 独歩

(くにきだ どっぽ 1871?~1908)

夏の波は高く、冬の波は低し。
土用七月の波、これを犬吠岬に見る。
その壯觀未だ忘る、能はず。

びょうしょうろく
(「病牀録」)

「武蔵野」で知られる国木田独歩（本名・哲夫）は明治4（1871）年銚子生まれ。父・専八は龍野藩（現在の兵庫県）出身の士族で、銚子沖で遭難して銚子に流れ着き、静養している間に独歩の母となるまんと出会ったとされています。明治政府下で下級官吏となつた父の転勤に従い、独歩も各地を転々として長じます。

独歩は一つ文芸家であるに留まらず、教師、宣教師、新聞記者、開拓者、実業家、政治家等を志しています。明治27年、徳富蘇峰主宰の国民新聞社に入り、日清戦争従軍記者となって従軍記を連載、好評を博します（後の「愛弟通信」）。明治30年には田山花袋と共に日光に2カ月半ほど滞在する間に「源叔父」を書き上げ、本格的な文筆活動を始めます。「牛肉と馬鈴薯」「忘れえぬ人々」等を次々に発表する一方で、編集、出版社経営等も手がけます。しかし過労によって徐々に健康を損い、転地療養もむなしく明治41年、37年の多彩な生涯を閉じました。

生地銚子には、晩年の両親が住んだこと也有ってたびたび訪れています。詩碑の立つ海鹿島の台地からは、独歩の父・専八が漂着した黒生の磯を望むことができます。

◎参考文献

『明治の文学22 国木田独歩』（筑摩書房 2001年） 9186-29-22

『銚子と文学／甦る言葉の海流』（岡見晨明 東京文献センター 2001年） C902-5

『新潮日本文学アルバム9 有島武郎』（新潮社 1984年） 91026-56-9

■出生の謎

独歩が生まれた当時、父・専八には国元に別の妻子があり、離婚してまん・独歩母子を入籍したのは明治11年のことです。戸籍上独歩は明治4年生まれ、まんの連れ子となっていますが、明治2年生まれとする説もあります。専八が銚子に逗留した時期や事情も今なお判然とせず、専八の実子かどうかも諸説あります。

■「或る女」

有島武郎の「或る女」のヒロイン葉子は、独歩の一人目の妻・信子がモデルとされ、独歩も「木部」として登場します。

独歩と信子が大恋愛の末結婚し、半年足らずで破れたことはセンセーショナルな事件でした。「或る女」は時代に先んじて自我に目覚めた女性の悲劇を描いて名高い作品ですが、モデルの存在も話題性に一役買ったものとみられます。

レファレンスあれこれ ⑩

資料に関する調査・相談にお応えしています。過去に寄せられたご相談の事例をご紹介します。

[] の中は当館の請求記号です。

『1688 A GLOBAL HISTORY』の中の水墨画の題名に掲載されている中国人の人名「Ding Peng」の日本語読みを知りたい。中国の有名な水墨画家「石濤」のパトロンだったらしい?

(2004. 1. 23)

【調査経過】

- ① 『中日辞典』によると「ding」は「丁丁叮叮釘釘定」など、「peng」は「亨抨澎烹砰棒棚」などあり。日本語では「ていほう」という読みだと推測できる。
- ② 『大漢和辞典』や『中国学芸大事典』に【丁澎】(ていほう)の項目があり、字(あざな)は「飛濤」。
- ③ 改めて『1688 A GLOBAL HISTORY』を見ると、掲載されている水墨画「Landscape by Shitao, given to DingPeng in 1688」の題識に「飛濤先生」とある。「Ding Peng」は「飛濤」ではないかと推測できる。
- ④ 「石濤」についての本を県立中央図書館に調査してもらったところ、『石濤一人と芸術』p48に同じ水墨画があり、「飛濤のための山居図」との題があった。Shitao(石濤)がこの絵をDing Peng(丁澎、字は飛濤)に送ったことが確認できた。
- ⑤ よって「Ding Peng」の日本語読みは「丁澎(ていほう)」であることがわかった。

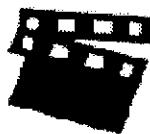
【提供資料】

[当館所蔵] 『中国学芸大事典』大修館書店[22200-3]、『大漢和辞典』大修館書店[8132-16-1]

[千葉県立中央図書館所蔵] 『石濤一人と芸術』(中村茂夫著 東京美術 1985年)

●担当者のコメント●資料が洋書だったこと、中国人の実名と字の両方を調べなければならなかつたことなどにより、辞書・事典類が活躍したレファレンスでした。水墨画の中の漢文に注目したこともポイントでした。

名作映画鑑賞会のご案内



毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(参加無料)

時間：開場13時 上映13時30分～ 場所：東部図書館3階研修室
来館またはお電話でお申し込みください。

6月19日(土)『理由なき反抗』

監督：ニコラス・レイ／主演：ジェームス・ディーン（1955年 アメリカ カラー 111分）「エデンの東」に続く第2作目。崖に向かって車を走らせるチキン・レースのシーンは余りにも有名。

7月10日(土)『冬冬の夏休み』※7月の上映会は第2土曜日に開催します。

監督：侯孝賢／主演：ワン・チークアン（1984年 台湾 カラー 98分）侯孝賢は、子供たちを信頼し、愛することでこの傑作を作り上げた。幼い兄妹の田舎での一夏を、鮮やかな緑と青空、川面に反射する光とともに詩情豊かに描き出した作品。

※8月の上映会はお休みさせていただきます。

<行ってみよう！近くの施設 ⑩>

利根の流れを見つめな

～千葉県立大利根博物館～

たゆたう流れの利根川のすぐそばに、大利根博物館は建っています。「利根川の自然と歴史」をテーマにしているだけあって、水に囲まれた博物館です。

館内は利根川の流れが現在の姿になる以前の地質時代から現在の生態系まで、見学者が理解しやすいよう、時間を追って、実物や模型など立体的な展示物を交えて大変わかりやすく展示されています。また、自然科学や考古学、民俗学など、学問のジャンルにとらわれず、利根川流域に焦点を当てているため、ここに来館すれば利根川のすべてを理解することができます。



屋外には、実際にこの地方で使用されていた水門や排水ポンプ、渡船などが展示されており、自然観察園があつたりと、のどかな気分で散策しながら地域を再発見することができます。水田には古代に栽培されていた品種から現代の品種まで、約百種類の稻が栽培されており、生長する過程の違いを観察することができるよう工夫されています。

■ 県立図書館の資料は、市町立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

日差しがすっかり暑さを増してきました。
お気に入りの1冊を選んで、
木陰でゆったり読まではいかが。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.jp/>

